

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	運河駅自由通路管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課			
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東武アーバンパークライン 運河駅自由通路	意図	自由通路を常時円滑かつ快適に利用できるようにする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 運河駅周辺整備事業に伴い、運河駅東西口のアクセス路として、24時間開放の自由通路の防犯・防火・清掃・照明施設等について、一元的かつ効率的に管理するもの。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 運河駅東口周辺市街地整備事業に伴い、駅舎の橋上化と併せた東口の開設と、駅前広場や駅前道路等の整備を一体的に実施された。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		支障処理件数	10	34	8	件	
指標で表すことができない定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> 昇降設備、通路、階段等の維持管理により、通路利用者の快適で円滑な通行を確保できる。 				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	自由通路内の昇降機等による支障処理件数は減少傾向にある。迅速な対応により事故等は発生していない。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,763,607	2,743,020	2,868,802				
事業費(b)(円)	2,077,107	2,071,820	2,209,602				
うち一般財源	2,077,107	2,071,820	2,209,602				
職員給与費(c)(円)	686,500	671,200	659,200				
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路管理規定を作成する。 利用者の安全を確保するため、修繕箇所の優先度が高い箇所から迅速に対応する。 	取組における課題(Check)	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路管理規定を策定し、利用者が安全に通路を通行できるよう維持管理に努める。
H30に実施した取組(Do)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の不具合箇所の確認を行い、受託者に修繕等を指示した。 自由通路の管理に関する要領を制定した。 	課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全を確保するため、修繕箇所の優先度が高い箇所から実施する。